



関 紗弥香さん(享年21歳)を偲んで

2023年1月9日。輝く笑顔で家族や友達と向き合い『こんなにつらい治療が両親や弟の身に起こらなくて良かった…。』そう語っていた優しいお嬢様が、ご逝去されました。白血病と向き合い3度の骨髄移植に臨むも、その尊い命は天国へと旅立ちました。謹んでお悔やみを申し上げ、ご冥福をお祈り申し上げます。闘病中、新潟県赤十字血液センターが行う献血の広報にも協力された紗弥香さんをお偲び頂ければ幸いです。

『生きたい!って、強く願った4年半』

関 勝明 関 美由紀

娘、紗弥香は17歳高校二年生の時に急性リンパ性白血病を発症しました。

一人きりの個室、ベッド周りにはウイルスを防ぐビニールが張られ、頭の方からきれいな空気が出る装置がありますがブーンと大きい音で血球が上がるまでは病室を出られない。両親以外は病室に入れない。そんな特殊な病室生活に『外に飛んでいる鳥さえ羨ましい』寂しそうにベッドから空を見つめていた紗弥香を想うと今でも胸が痛みます。

血液のガンと言われる白血病は幾つもの種類の抗がん剤を1か月かけて投与し、血球を下げます。ガン細胞を死滅させるためですが、

正常な血球も殺してしまいます。その失った血球を補充するのが輸血です。闘病4年半で何百人分の輸血をいただきましたでしょうか。輸血という無償の愛でいくつもの命をつないでいただきました。そして自力で血球が造り始めると、また1か月かけて抗がん剤を投与します。移植が必要な人は前処置というさらに強い抗がん剤を1週間投与し、血球の値をゼロ近くまで下げ、造血幹細胞を移植します。

1か月以上ご飯が食べられない、目を開けることすらしんどい、身体中にドナーとの拒絶反応が出る、吐き気、不眠、倦怠感…見ているこちらが涙します。でも、紗弥香は涙することもできないのです。次第に心も壊れていきました。





そんな移植を3回も経験したのは、もちろん『生きたい!』と強く願ったからです。必ず治す! 治ったら『普通』にオシャレして、遊んで、恋をする。普通に生きたかっただけなのです。

しかし移植をしても再発、再発…昨年1月頃は抗がん剤の副作用による足の麻痺が出てうまく歩けず、だるさから体を長い時間起こすことは難しくなりました。昨年11月に余命宣告を受け、紗弥香は自宅で過ごす事を選んでくれました。移動は車椅子、ベッド上での生活。

『普通』どころか『生きる』こともできないのか…生きる事を残したくて、沢山の友達に会いました。週に2回輸血を受けに病院へ通いました。毎日笑って、毎日『ありがとう』と感謝して。毎晩『死ぬのが怖い』と泣きました。

1月9日。最期の瞬間まで必死に息をしていた娘。最期まで生きることを諦めなかった娘。亡くなって少しすると口角が上がりまるで笑っているようでした。これほどこの病気と闘う事は過酷だったのか、苦しみ・悲しみ・辛さから解放されたんだね。

あの日から沢山の人が紗弥香への愛を語ってくれました。

紗弥香の優しさ・愛情・強さ・可愛さが繋げてくれたご縁を、私達家族がこれから繋いでいきたいと思っています。



『私にできること』

永野 陽菜

私の友人は、高校2年生の夏に白血病になりました。友人から打ち明けられたときは、白血病のことを全然知らなかったため、必死に友人たちと調べました。

調べていくと同時に、私たちに何かできることはないかとみんなで考え、闘病している友人が「一人ではない」こと、「私たちがそばにいて一緒に向き合っていくよ」と伝えられることを企画しました。千羽鶴、おそろいのパジャマ、友人が好きそうなぬいぐるみ…辛い気持ちが少しでもうれしい気持ちや頑張ろうと思える気持ちに変わるように。会いに行ける時は短い時間でも会いに行きました。友人の為なら何でもできました。献血や骨髄バンクもその一つだと私は思います。誰かの辛い気持ちが頑張ろうと思える気持ちに変わるように、私はこれからも私にできることをしたいと思います。



『もっと多くの方に献血に協力してほしい』彼女の想いを繋げたい

新潟県赤十字血液センター 献血推進課 主事 江部 宏生

献血講演会で訪問した高校で関さんにお会いしました。退院後の保健室での学習中、休憩時間に友達が来て笑顔で会話している姿が印象的でした。闘病生活を経て伝えたいことを教えてほしいとお願いすると、快く引き受けて下さいました。彼女の言葉は私自身も「健康でいることが当たり前ではなく、どんなに幸せなことであることか」を考え直すきっかけとなりました。その後は献血普及啓発のパフレットや新潟県と共同制作したインタビュー動画への出演等、多くのご協力をいただきました。

関さんの訃報を受け、誠に残念でなりません。関さんからいただいた想いを多くの方に伝え、献血者・ドナー登録者の確保に一層努めたいと心を新たにしております。

先日、私自身新潟市内での併行登録会の際、会場で心肺停止した急病者に対して心肺蘇生とAEDを使用し一命を取り留めることができました。思えば天国から関さんも手伝ってくれたのかな。ありがとう。





📍 第15回通常総会

2023年5月7日（日）正会員28名中21名の書面評決により2023年度事業計画、事業収支予算が承認されました。

- 《事業予定》・献血並行ドナー登録会 ・語り部事業 ・患者会（長岡赤十字病院）
 ・タオルハンカチ贈呈事業 ・書籍贈呈事業 ・会報誌作成
 ・ホームページ運営（+ツイッター） ・模擬ドナー登録会（高田高校、直江津中等教育学校）
 ・チャリティーゴルフコンペ（10月21日土曜日 妙高カントリークラブ） ・ボランティア育成

👑 献血並行ドナー登録会

- 6月2日（金）上越警察署
前日に起きた殺人事件のため、上越教育プラザに会場変更され何とか開催にこぎつけました。午前中のみでしたが4名にご登録頂けました。（小林俊夫、関 美由紀）
- 6月7日（水）陸上自衛隊高田駐屯地
6名の方がバスで献血を開始するまで声掛けは出来ませんが、赤十字血液センターの方も積極的にドナー登録を呼びかけて下さり、献血はもちろんだナー登録もスムーズで18名の登録がありました。（野中由美、関 美由紀、小林昌美）



📍 新潟ばんだいゆとりろ献血ルーム

6月26日（月）にいがた骨髄バンク応援団のメンバー2名と一緒に13:30～16:00までドナー登録の説明員として参加しましたが、既にドナー登録している方が1名、受付0名、登録者0名でした。（小島 充）

😊 模擬ドナー登録会 *ツイッターもご覧ください

6月4日（日）県立高田高校文化祭で模擬ドナー登録会を開催しました。一般客を招いての文化祭が3年ぶりあって、あいにくの雨にも関わらず多くの来場者があり、模擬ドナー登録会&クイズコーナーには300名以上の参加者がありました。クイズに挑戦した高校生の中には「小学生の時にこのクイズに参加したことがあって、問題も答えもよく覚えています！」という生徒さんもいました。（齋木桂子）



👑 語り部講演会 *ツイッターもご覧ください

6月20日（火）富山第一高校で富山ライオンズクラブ主催による骨髄バンク普及啓発イベントに出席しました。ゲストは読売巨人軍やメジャーリーグで活躍した上原浩治さん。骨髄バンクの現状や骨髄移植についてフリートークをした中で「ドナー登録はもっと多くの人に協力してもらいたい。」と話し、高校3年生へ将来へのエールと力強いメッセージが送られました。（齋木桂子）



😊 タオルハンカチ贈呈

6月20日（火）県立中央病院、6月26日（月）長岡赤十字病院で闘病中の患者さんに、今年もタオルハンカチに応援メッセージを添えて贈呈させて頂きました。

（小林昌美、渡邊雅之）



まごころからのご支援をありがとうございました

(2022年12月6日～2023年6月13日まで)

- 小林洋子様 ○齋木美恵子様 ○匿名希望様 ○志賀定男様 ○河野健一様 ○流石光信様
- 松澤政子様 ○梅谷 守様 ○横山美春様 ○畔上義弘様 ○高澤大介様 ○岡村光浩様
- 山本孝子様 ○川崎和子様 ○二所宮智子様 ○小池和子様 ○小野奏美様 ○五十嵐洋子様
- 安保サイ様 ○池田ふさ様 ○岩田春代様 ○尾身昌子様 ○川崎浩子様 ○佐藤和子様
- 平野久美様 ○宮澤ハルエ様 ○井口千恵子様 ○新潟骨髄バンク連絡会様 ○株式会社平林塗装様
- 新潟県立高田高等学校模擬ドナー登録会&クイズでの募金

◆ご寄付のお願い— 当法人の活動は皆様方の善意に支えられています。
ご協力を賜りますようお願い申し上げます。◆

○郵便振替口座 00500-5-97142 NPO法人骨髄バンクサポート新潟

◆日本骨髄バンクの現状 (令和5年6月末現在)

患者の状況	人数	ドナーの状況	人数	非血縁者間移植実施数	件数
患者登録者数 (累計)	66,894	登録受付ドナー数 (累計)	931,045	累計	27,677
患者登録現在数	1,685	ドナー登録現在数	546,679	令和4年度	1,055
(うち国内登録患者現在数)	1,180	令和4年度新規登録者数	34,507	令和5年6月	109
HLA適合患者数 (累計)	53,261	HLA適合報告ドナー数	372,449	令和5年度6月末	294

* 患者登録現在数は、患者登録数 (累計) から登録取消された患者数および移植実施患者数を引いた数です。

* HLA適合報告ドナー数は複数適合したドナーの数を差し引いた実適合ドナー数を表示しています。

* 移植数には、海外ドナーからの移植数 (海外で採取・国内で移植) が含まれています。

◆骨髄バンクへのお問い合わせ

☎03-5280-1789

日本骨髄バンク



<https://www.jmdp.or.jp>



◆会費納入をお願いします

納入がお済みでない方は、お早めをお願いいたします。また、お知り合いの方へのお声掛けにご協力ください。寄付付き自動販売機の設置についてもご協力をお願い致します。自動販売機の設置については、お気軽にお問い合わせください。

【事務局】025-546-7337 メール kbsniigata@gmail.com

◆NPO法人 骨髄バンクサポート新潟 入会のご案内

正会員	賛助会員
個人一口 2,000円より 団体一口 10,000円より	個人一口 2,000円より 団体一口 10,000円より
ボランティア活動を 一緒にして下さる方 総会での議決権あり	資金援助をして下さる方 総会での議決権なし

【賛助会費、寄付の振込先】

郵便振替口座 00500-5-97142

加入者名 NPO法人骨髄バンクサポート新潟

* 一口2,000円で何口でも可能

特定非営利活動法人 骨髄バンクサポート新潟 〒943-0805 上越市木田2-3-11-5

☎ 025-546-7337 FAX 025-546-7338 Mail kbsniigata@gmail.com HP <http://kbsniigata.jimdo.com>

